

## 平成 25 年度 事業報告及び収支決算報告について

平成 25 年度は、第 62 回式年遷宮「遷御の儀」を 10 月に迎え、平成 24 年まで続いていた観光客の減少傾向に歯止めがかかり、4 月からは月を追うごとに増加、全国から過去最高の年間 1,420 万人を超える神宮参拝客を迎え、観光客数も年間 2,000 万人を記録した平成 6 年を上回る活況を呈することが出来ました。

伊勢神宮の参拝客数で見ると、第 61 回式年遷宮の平成 5 年の 839 万人に対し 69.2%増、平成 24 年の 803 万人に対し 76.8%増、特に外宮参拝客数では平成 5 年対比 87.0%増、平成 24 年対比 112.7%増と飛躍的な伸びを示しました。

マーケットの特徴としては、首都圏及び遠隔地の伸びが顕著となり、宿泊施設においては関西・中部圏を首都圏が上回る施設も多くみられました。

また、交通アクセスでは、近鉄の新たな観光特急「しまかぜ」と観光列車「つどい」の運行開始、JR 東海の「快速みえ」や臨時急行の運行編成の強化、三重交通の新型バスの導入等、公共交通の話題性が高まり、公共交通を利用したアクセス推進プロモーションとの相乗効果で、公共交通の利用者が著しく増加したのも大きな特徴です。

当機構としましては、第 62 回式年遷宮を最大限に活かした事業展開を図るとともに、次のような事業を重点的に取り組みました。

遷宮対策事業として実施された全国からの特別神領民「お白石持行事・浜参宮」歓迎・もてなし受入体制支援を鳥羽・志摩地域に呼びかけ、一体となり協力しました。

誘客・発信事業では、7 月から 9 ヶ月間に及ぶ遷宮年ならではの大型観光キャンペーン「せんぐう旅博」を開催、南伊勢町・度会町・玉城町の参画を受け、文字通り伊勢志摩地域一体となって展開しました。また、首都圏・中部圏・関西圏でのイオンモールや商業施設、SA・PA 等での積極的な観光展連携事業の実施、メディア・テレビ等への情報提供と露出度拡大、県・セントレアと連携した東北・九州等遠隔地でのプロモーション、三重県観光キャンペーンと連動した新たな切り口の伊勢志摩周遊企画プランの実施等を展開しました。

受入体制整備事業では、引き続き「和食検定」の団体受験・セミナーを実施、12 月にユネスコの世界無形文化遺産に登録された「和食文化」と伊勢志摩の食文化をおもてなしに活かす取組みを実施しました。

コンベンション誘致事業では、開催件数で前年の約 3 倍にあたる各種会議開催を誘致し、助成・支援を行いました。

教育旅行誘致事業では、首都圏のマーケットの見直しを図り、神奈川県に続き、都内公立中学校にターゲットをシフトしセールス活動を展開しました。

外客誘致事業では、観光庁の受入環境整備事業に応募し、モニターツアーでの検証と課題解決を中部運輸局と共同で実施、また三遠南信地域と連携し都内での商談会を開催しました。

着地型旅行商品の充実強化については、観光庁の公募事業の採択を受け民間事業者によるビジネスモデル構築の取組みを展開しました。

さらに、第 1 次「伊勢志摩観光振興プラン」の最終年度を迎えることから、平成 26 年度から 5 か年の第 2 次「伊勢志摩観光振興プラン」を策定し、遷宮後の伊勢志摩広域観光の戦略を明らかにしました。

それでは、以下各事業の詳細について報告いたします。

## I. 観光情報の発信事業

伊勢志摩地域への効果的な誘客のため、行政区域の枠を超えた広域でのスケールメリットをいかした情報発信の事業に取り組みました。

### (1) TV番組による情報発信

地元で活躍する人に焦点をあて、人と触れあいながらその町の魅力に迫る番組である三重テレビ「ええじゃないか。」で15本の番組を制作し、3市1町の魅力的な資源や旬の情報等を発信しました。また、関東から関西の9局で放映することで全国からの誘客促進を図りました。【3市1町（伊勢市・鳥羽市・志摩市・南伊勢町）特別負担事業】

放送期間：平成25年4月～平成26年3月（毎週1回55分間）

放送局：毎週月曜日 午後7時00分～ 三重テレビ放送

毎週日曜日 午後4時00分～ テレビ埼玉

毎週木曜日 午前8時30分～ 奈良テレビ

毎週金曜日 午後7時00分～ 千葉テレビ

毎週日曜日 午後2時00分～ サンテレビジョン

(10月～毎週土曜日 午後12時)

毎週金曜日 午後8時00分～ テレビ神奈川

毎週日曜日 午後7時00分～ 岐阜放送（10月～毎週月曜日）

毎週日曜日 午後8時00分～ KBS京都

毎週日曜日 午後2時00分～ とちぎテレビ（10月～放送開始）

【上記9局で全国世帯数の50.1%をカバーしています】

放送日（三重テレビ）	取材地	タイトル
平成25年4月1日	伊勢市	二見町で浜参宮を取材旅！
平成25年4月8日	志摩市	磯部町の注目スポットを取材旅！
平成25年4月29日	鳥羽市	話題沸騰！食の新名物めぐり！
平成25年5月6日	志摩市	伊勢志摩ツーデーウォークを下見取材！
平成25年7月22日	伊勢市	盛り上がる外宮前を取材旅
平成25年7月29日	鳥羽市	潮騒の島・神島を取材旅
平成25年9月2日	鳥羽市	有名観光スポットをディープに取材旅
平成25年9月9日	伊勢市	周遊バスで伊勢を取材旅
平成25年9月16日	伊勢市・鳥羽市	映画のロケ地をめぐる取材旅！
平成25年9月23日	志摩市・南伊勢町	映画のロケ地をめぐる取材旅！
平成25年10月28日	南伊勢町	自然体感、おいしい町を取材旅！
平成25年11月4日	志摩市	秋の賢島リゾートを取材旅！
平成26年1月6日	志摩市	冬の体験ツアーと旬の味覚を取材旅
平成26年1月13日	鳥羽市	あったか温泉と冬の味覚を取材旅
平成26年3月17日	伊勢市	外宮のまち“山田”の商店街を取材旅

## (2) パンフレットによる情報発信

平成 24 年度に伊勢志摩のイメージアップや観光誘致を目的に作成した『伊勢志摩観光ガイドブック「美し国 伊勢志摩」(日本語版)』を基に、新たな情報の修正等を加え、日本語版及び英語版(各 20,000 部)を作成しました。これを、市町や観光協会等の案内所、及び県観光連盟、中部国際空港セントレアの案内所に配置をすることで、国内だけでなく国外における伊勢志摩地域の観光情報の発信に寄与しました。

また、上記ガイドブックのダイジェスト版を作成し、イベント等で配布することで、伊勢志摩地域の魅力を手軽に発信するツールとして活用することができました。

## (3) インターネットによる情報発信

平成 23 年度にリニューアルしたインターネットホームページのコンテンツを充実することにより、地域内の周遊促進につながる「旅前情報・着地情報」の発信を行いました。また、フェイスブック・ツイッター等の SNS を利用し、季節毎のイベント情報等のより新鮮な情報を発信しました。

## (4) 各種広告宣伝・協賛

専門誌、新聞等へ広告協賛等を行い、伊勢志摩地域全体を PR しました。

No.	媒体名	出版社・発行所名	放送・掲載日	部数・回数
1	旬刊旅行新聞中部特集 「日本まんなか紀行」	(株)旅行新聞新社 関西支社	平成 25 年 7 月 1 日	32,000 部
2	おでかけ 伊勢ドライブ	(株)デイリー・インフ ォメーション中部	平成 25 年 8 月 31 日	100,000 部
3	「神宮式年遷宮と三重」 特集	(株)中日新聞社	平成 25 年 9 月 28 日	323,826 部
4	お伊勢さんマラソン大会 プログラム	お伊勢さんマラソン 実行委員会	平成 25 年 12 月 1 日	10,000 部
5	信州の地元情報誌 「KURA」	(株)コミュニケーション ンサービス	平成 25 年 12 月 20 日	50,000 部
6	Harmony 1・2月号	「Harmony」編集室	平成 26 年 1 月 1 日	200,000 部
7	月刊ぴあ starcat 東海版	(株)創和広告中部支社	平成 26 年 1 月 21 日	130,000 部
8	中日新聞「中部新時代 2014」特集	(株)中日新聞社	平成 26 年 2 月 26 日	2,654,359 部
9	中日新聞三重版	(株)中日新聞社	平成 26 年 3 月 15 日	321,360 部

## Ⅱ. 観光客及びコンベンションの誘致促進及び受入体制の整備に関する事業

伊勢志摩地域全体への観光入込客の増大を図るため、地域で一体となって観光客やコンベンション等の誘致に取り組みました。

### (1) みえ・美し国エクスプレス運行支援

三重県観光振興プランに基づき、中京圏から伊勢志摩への誘客促進を図るため平成 17 年から開始した「みえ・美し国エクスプレス」シャトルバスの運行支援を行いました。

年間利用者数は遷宮年ということもあり対前年比 116%の 12,805 名でした。

### (2) 展示会等への出展

空港利用者だけでなく、周辺地域のレジャースポットとして多くの人で賑わう中部国際空港“セントレア”において、松阪市及び明和町と共同で「松阪・伊勢志摩観光物産展」を開催しました。伊勢志摩地域全体の観光PRを行うとともに、地域の物産販売も同時に実施して地域イメージの向上に努めました。

#### ①セントレア

開催期間：平成 25 年 6 月 26 日 ～ 7 月 3 日

場 所：中部国際空港 4 階イベントプラザ

参加市町：伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、玉城町、度会町、松阪市、明和町

来場者数：期間中来場者数（4 階）約 18 万人

#### ②ふるさと全国県人会まつり

開催期間：平成 25 年 9 月 7 日 ～8 日

場 所：名古屋市（久屋大通公園及び久屋広場）

参加市町：度会町、玉城町

来場者数：期間中来場者数 約 13 万 7 千人（主催者公表数）

### (3) コンベンション開催の誘致活動及び開催支援

県内の企業、行政機関、大学、各種団体支部への恒常的な個別セールスを行うと共に、これに連動した旅行エージェント等へのセールスを実施した結果、年間で 18 件（参加人数 19,026 人・参加延べ人数 41,962 人）のコンベンション大会を誘致しました。

また、コンベンション主催者に対して助成金の交付（14 件）及び資料提供、歓迎看板の掲出等の開催支援をしました。

コンベンション開催支援一覧表						
月	日	日数	大会名	会場	参加人数	延べ人数
4	7(日)	1	R260ロードフェスタ	御座白浜	121	121
5	11(土)~12(日)	2	第1回伊勢志摩・里海トライアスロン大会 in 合歓の郷	合歓の郷	362	724
	17(金)~20(月)	4	第31回全国シニアソフトボール大会	阿児ふるさと公園、他	800	3,200
6	1(土)~2(日)	2	NPO 法人社叢学会年次総会・見学会・研究発表会・シンポジウム	皇学館大学	138	276
	15(土)~16(日)	2	「宗教と社会」学会第21回学術大会	皇学館大学	140	280
	27(木)~28(金)	2	平成25年度東海北陸ブロック老人クラブリーダー研修会	鳥羽シーサイドホテル	181	362
7	31(水)~2(金)	3	第52回全国高等学校教頭・副校長会	伊勢市観光文化会館	559	1,677
8	9(金)~10(土)	2	第38回全国建築士事務所大会三重大会	三重県営サンアリーナ	1,605	3,210
	23(金)~24(土)	2	第61回日本PTA全国研究会	三重県営サンアリーナ、他	7,928	15,856
	23(金)~25(日)	3	平成25年度仏教看護・ビハーラ学会第9回年次大会	皇学館大学	100	300
9	13(金)~14(土)	2	全厚労第61回定期大会	賢島宝生苑	198	396
	14(土)~15(日)	2	2013 第46回全日本社会人体操競技選手権大会2部大会	三重県営サンアリーナ	906	1,812
	14(土)~15(日)	2	日本学校心理学会第15回三重大会	皇学館大学	300	600
	25(水)~26(木)	2	2013 東海地区認知症フォーラム in 三重	鳥羽シーサイドホテル	353	706
10	17(木)~18(金)	2	第65回全国連合小学校長会研究協議会	三重県営サンアリーナ	3,063	6,126
	20(日)~22(火)	3	芽生会	鳥羽シーサイドホテル	146	438
	23(水)~25(金)	3	第55回全国社会教育研究大会三重大会	三重県営サンアリーナ	1,626	4,878
11	8(金)~9(土)	2	第11回産業廃棄物と環境を考える全国大会	伊勢志摩ロイヤルホテル	500	1,000
合 計					19,026	41,962

#### (4) 外客誘致の推進

##### ①三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会事業

参画する「三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会」の事業として、昨年度までの反省点や課題となっていた部分を修正して、東京の豊川稲荷で「インバウンド商談会」を実施しました。

また、「豊橋まつり」に出展し、広域連携のもと観光パンフレット等の配布を行いました。

事業名：三遠南信・伊勢志摩広域観光交流連携協議会

平成 25 年度 インバウンド商談会

開催期間：商談会 平成 25 年 7 月 16 日 13 時～18 時 30 分

17 日 8 時 50 分～14 時 30 分

商談会場：東京都港区元赤坂 1 丁目 豊川稲荷東京別院

参加者数：【16 日】 エージェント…8 社 9 名、

施設（宿泊・物販等）…16 社 19 名

主催者（事務局等）…6 団体 11 名

【17 日】 エージェント…6 社 7 名、

施設（宿泊・物販等）…15 社 18 名

主催者（事務局等）…6 団体 11 名

##### ②地域特性や資源を活用した受入環境整備に関する訪日外国人旅行者の受入環境整備に係る外客受入拠点整備事業

観光庁が公募した「外客受入環境整備事業」に中部運輸局を通し伊勢志摩地域として応募、採択を受け、事業委託を受けた株式会社ぐるなびと共に、外国人旅行者に提供するコミュニケーションサービスの充実及びツール開発に取り組みました。

具体的には、着地型旅行商品を外国人旅行者が利用する際に課題となっている多言語コミュニケーションの困難さを解消し、伊勢志摩地域内の周遊と滞在時間の延長を図ることを目的に、複数の国の外国人によるモニターツアーを実施し、伊勢志摩の各種着地型商品に対する関心度や利用する際の課題等の調査を行い、課題を解決するためのツールとして、WEB サイトとタブレット端末を活用したコミュニケーションツールや外国語リーフレットの開発に取り組みました。

○モニターツアー実施日：平成 25 年 11 月 30 日（土）～12 月 1 日（日）

参加者：外国人モニター 8 名（中国 2・韓国 2・台湾 2・フランス 2）＋通訳 3

##### ③昇龍道プロジェクト及び関係インバウンド推進機関への参画

中部運輸局、北陸信越運輸局及び中部広域観光推進協議会は、中部北陸 9 県の自治体、観光関係団体等と協働して中部北陸圏の知名度向上を図り、主に中華圏からインバウンドを推進するため、「昇龍道プロジェクト」を立ち上げています。当機構もこのプロジェクトに参画し、会議への出席等を通じて各種の情報収集等を行いました。

また、参画している伊勢志摩地域・鳥羽市外国人客誘致促進協議会（伊勢・鳥羽・志摩インバウンド協議会）、三重県外国人観光客誘致促進協議会との情報共有や意見交換、共同事業の実施により、インバウンド事業推進の相乗効果の発揮に取り組みました。

## （５）美し国伊勢志摩観光活性化対策事業

### ①着地型オプショナル商品パンフレット作成

伊勢志摩地域の 15 の着地型旅行商品を掲載したパンフレット（A4 カラー、8P、2 万部）を作成し、伊勢志摩地域観光圏限定旅行業者、受託販売店の 27 施設の他、計 83 施設に配布し、着地型旅行商品を販売しました。

### ②美し国エクスプレスを活用した旅行商品造成

- ・近畿日本ツーリスト中部のWEB ページで、美し国エクスプレス、参宮の木札、伊勢御餅三昧をセットにした旅行商品を造成しました。
- ・トップツアーのWEB ページで、美し国エクスプレスと宿泊をセットにした旅行商品を造成しました。
- ・美し国エクスプレス専用パンフレットを造成（近畿日本ツーリスト、三交トライパル）しました。

### ③関東又は遠隔地旅行パンフレットを活用した旅行商品プランの作成及び販売

- ・トップツアー首都圏パンフレット及びWEB で伊勢志摩旅行商品を造成しました。
- ・日本旅行赤い風船九州事業で伊勢志摩旅行商品を造成しました。

### ④着地型旅行商品販促グッズ作成及び展開

- ・女子旅すぽっと伊勢志摩ポケットガイド他 2 点の販促グッズを作成しました。
- ・作成した販促グッズを旅行会社パンフレット紙面で活用し、旅行成約者特典として展開することで伊勢志摩への誘客を図りました。

## （６）誘客促進活動事業

### ①「駅」開催分

活動日	駅名（活動場所）	活動内容
平成 25 年 6 月 20 日（木）～22 日（土）	西鉄福岡（天神）駅	観光PR（旅博キャラバン）
7 月 18 日（木）～20 日（土）	札幌駅	観光PR（旅博キャラバン）
10 月 9 日（水）	J R 京都駅	観光PR（しまかぜ&トワイライトエクスプレス企画）
11 月 22 日（金）	大阪市営地下鉄梅田駅	観光PR（旅博キャラバン）
11 月 28 日（木）	J R 大阪駅	観光PR
12 月 11 日（水）～12 日（木）	岡山駅	観光PR
平成 26 年 1 月 23 日（木）～26 日（土）	西鉄福岡（天神）駅	観光PR（旅博キャラバン）
「駅」開催イベント 計 7 件 延べ 15 日間		

②「SA等」開催分

活動日	活動場所	活動内容
平成 25 年 4月 27 日 (土) ~29 日 (月)	刈谷SA	観光PR
9月 14 日 (土)	土山SA	観光PR
「SA等」開催イベント 計 2 件 延べ 4 日間		

③「観光イベント等」開催分

活動日	観光イベント名等	活動内容
平成 25 年 4月 6 日 (土) ~7 日 (日)	大阪OAP桜まつり	観光PR
4月 10 日 (水)	阪急百貨店の伊勢参り物産展	観光PR
4月 20 日 (土) ~21 日 (日)	大阪造幣局桜通り抜けイベント	観光PR
5月 17 日 (金) ~19 日 (日)	関空旅博	観光PRブース出展
5月 19 日 (日)	神戸まつり	観光PRブース出展
5月 23 日 (木) ~27 日 (月)	イオンレイクタウン観光PR	観光PR
7月 29 日 (月)	セントレア観光PR (三重県観光キャンペーンイベント)	観光PR
8月 16 日 (金) ~20 日 (火)	イオン名古屋ドーム前観光PR	観光PR
9月 9 日 (月)	ロイヤルパークホテル (OZの女子旅EXPO)	観光PR
10月 14 日 (月)	「御遷宮奉祝 海と愛に育まれた鳥羽の祝祭~鳥羽のあまちゃん 100 人上京! 食と祝の祭典~」連携	観光PR
10月 31 日(木)~11月 4 日(月)	イオン堺北花田観光PR	観光PR
10月 29 (火)、 11月 2 日 (土) ~4 日 (月)	六本木ヒルズ観光PR	観光PR
12月 11 日 (水) ~15 日 (日)	名古屋モーターショー観光PR	観光PR
平成 26 年 1月 24 日 (金) ~25 日 (土)	イオンモール盛岡南観光PR	観光PR
2月 10 日 (月) ~11 日 (火)	国内活性化フォーラム in 和歌山地旅博覧会 in 和歌山での観光PR	観光PR
2月 14 日 (金) ~16 日 (日)	鹿児島県 天文館地区アーケード通り観光PR (旅博キャラバン)	観光PR
2月 18 日 (火) ~24 日 (月)	イオンモール幕張新都心観光PR	観光PR
3月 15 日 (土) ~16 日 (日)	旅まつり名古屋	観光PRブース出展
「観光イベント等」開催イベント 計 18 件 延べ 52 日間		



### Ⅲ. 伊勢志摩フィルムコミッション事業

映画・テレビ・CM等の撮影を誘致・サポートすることにより、地域内連携の醸成を図りつつ地元の魅力の再発見に繋げ、伊勢志摩の魅力をPRすることによって、多種多様な広報宣伝を図るため、「伊勢志摩フィルムコミッション」として、以下の事業に取り組みました。

#### (1) 撮影誘致支援活動

映画、テレビ、CM等の映像作品を誘致し、ワンストップサービスによる支援を行い、これらの映像作品を通じた当地域の知名度アップや魅力の創出、更には経済効果等、様々な波及効果につなげるとともに、地域が一体となったサポート体制を図ることによる地域コミュニティの強化を図りました。

制作会社等からの問い合わせへの対応や、取材及び撮影へのサポートの件数は75件【テレビ51、映画7、CM6、書籍1、ポスター・Web等10】で、そのうち48件は実際にスタッフが伊勢志摩へ取材・撮影に入りました。また6件に延べ約300名のエキストラを派遣しました。

#### 【主な支援作品】

##### ①テレビ番組

テレビ局名	番組名	放送日
TBS	もてもてナインティナイン ～明治天皇の玄孫竹田恒泰と行く伊勢神宮SP～	平成25年4月30日
	月曜ゴールデン「信濃のコロンボ～死者の木霊～」	平成25年10月7日
	世界・ふしぎ発見!	平成25年12月28日
日本テレビ	ザ!鉄腕!DASH!!	平成25年9月8日
	メレンゲの気持ち	平成25年11月9日
	カミングアウトバラエティ! 秘密のケンミンSHOW	平成26年1月23日 平成26年1月30日
テレビ東京	水曜ミステリー「看護師 戸田鮎子の推理カルテ・2」	平成25年10月30日
東海テレビ	ぐっさん家	平成26年2月8日
フジテレビ	とんねるず×さまぁ～ずの一文無しジャーニー2×2 ～はじめてのお伊勢参り	平成26年2月25日
テレビ朝日	土曜ワイド劇場「東京駅お忘れ物預り所7」	平成26年4月12日

##### ②CM、その他

会社・プロダクション名	内容
近畿日本鉄道(株)	テレビCM「まわりゃんせ」
(株)シースリーフィルム	テレビCM「ユニーお盆食品大市」
HONDA	WEB「ニッポンの旅人」

### ③映画

映画名	撮影地	備考
世界を救う 10 本の木 (仮)	神前海岸 (伊勢市)・伊勢志摩スカイライン 宮川 (度会町)・池の浦海水浴場 (伊勢市)	外国映画 (カナダ)

### (2) 活動・広報

活動・広報日	活動・広報内容
平成 25 年 6 月 1 日 (土)	第 11 回三重映画フェスティバル
平成 25 年 7 月 29 日 (火)	鳥羽フィルムフェスティバル 2013
平成 25 年 9 月 26 日 (木) 27 日 (金)	平成 25 年度ジャパンフィルムコミッション通常総会
平成 26 年 3 月 3 日 (月)	映画『WOOD JOB! ~神去なあなあ日常~』 特別先行試写会出席

### (3) フィルムコミッション事業推進委員会との連携

東海 FC 実務担当者会及び県内フィルムコミッションとの連携を図りました。

《FC 事業推進委員会》

- ・ 第 1 回 FC 事業推進委員会 平成 25 年 6 月 25 日 (火)
- ・ 第 2 回 FC 事業推進委員会 平成 26 年 2 月 6 日 (木)

## IV. 観光情報の調査研究及び観光客の満足度の向上に関する事業

観光客へのおもてなしを向上させ、伊勢志摩広域で市町の枠・官民の垣根を越えて域内の調整、連携及び観光客の実態を把握するため、以下の事業に取り組みました。

### (1) おもてなし向上事業

「伊勢志摩おもてなし向上委員会」は、平成 25 年度 3 月末に解散しましたが、その委員会で構築された情報ネットワークを活用し、来訪者からの苦情等の情報を共有し、再発防止とともに更なるサービスの向上を図りました。

### (2) 観光客の実態調査

伊勢市 6 ヶ所、志摩市 3 ヶ所、鳥羽市 4 カ所の各観光施設に御協力いただき、年 4 回アンケート調査を行いました。アンケート結果については、ご協力いただいた各観光施設に配付し、当機構のホームページに掲載しました。

## V. 観光産業及び観光文化の振興と人材の育成に関する事業

伊勢志摩の各地域で一体となった集客交流が円滑に進む体制の整備を通じて、地域の観光産業の振興を図りました。また、地域の観光事業者及び観光客へのおもてなしに関心を持つ一般の方などを対象に、研修やセミナーを実施することで、人材の育成を図りました。

## (1) 美し国伊勢志摩受入体制整備事業

伊勢志摩地域の観光資源である食の知識を深め、より細やかな「おもてなし」が提供できる人材を育成するため、ユネスコの無形文化遺産へ登録されました「和食：日本人の伝統的な食文化」に関する研修会を開催しました。また、和食に関する見識を高め、認知度及びホスピタリティの向上のため、「和食検定」の団体受験環境を提供しました。

さらに、伊勢志摩観光圏の周遊性を高めるため、2次交通の活用推進を目的に、当機構のホームページに各公共交通機関や各自治体等ホームページの交通情報を連携する仕組みを構築しました。

### ○和食検定

研修会 開催日 平成 25 年 6 月 27 日 (木) (参加者：18 名)  
内 容 和食研修 おもてなし向上を図る上での和食検定の役割と必要とされる和食の知識  
講 師 日本料理マナー・サービス研究所 所長 保田 朱美 氏  
財団法人日本ホテル教育センター 主席研究員 菊池 かをる 氏  
受験日 開催日 平成 25 年 10 月 24 日 (木) (参加者：5 名)

## (2) 着地型ニューツーリズムネットワーク構築サポート事業

平成 23 年度から 2 年間取組んできた観光圏整備事業のプラットフォーム支援事業の成果を活用し、今年度は観光庁の「官民協働した魅力ある観光地の再建・強化事業」の事業採択（定額 10/10、全国 78 地域）を受け、「伊勢志摩地域を紡ぐ“人・自然・食・文化・暮らし”五感体験・感幸ツアー」をテーマにした民間主導の着地型商品造成から流通促進へのビジネスモデル構築及び展開支援事業に取り組みました。

具体的には、既存商品のブラッシュアップ、WEB サイトによる発信・誘客、メディアによる PR、旅行会社を活用した販売、有料モニターツアーによる集客、各地での観光展におけるプロモーション、専用リーフレットの作成、近鉄沿線主要駅での発信等を展開しました。主なものは以下の通りです。

### ①WEB サイトによる発信

- ・官民協働事業の中で開設された WEB サイト「タビカレ（日本タビカレッジ）」
- ・ティーゲート（近畿日本ツーリスト別会社）運営「旅の発見」サイト

### ②メディアによる発信・集客

- ・旅行雑誌「旅の手帳」特集ページ掲載
- ・名古屋リビング新聞 1 面特集ページ及び記事広告掲載、計 3 回

### ③旅行会社とタイアップしたマーケット別有料モニターツアーの実施

- ・JTN（名古屋の旅行会社）によるエスコート型モニターツアー：11 月計 4 回 154 名
- ・ティーゲート「旅の発見」による個人型モニターツアー：10 月～12 月計 63 名

#### ④観光展での発信

- ・観光庁主催「タビカレ学園祭」出展・ステージ発表：2月1日～2日 東京ビックサイト
- ・全旅協主催「国内観光活性化フォーラム」出展：2月10日～11日 和歌山ビッグホエール
- ・「旅まつり名古屋」出展：3月15日～16日 名古屋久屋大通公園

#### ⑤専用リーフットの作成・配布

- ・2万部を作成、近鉄主要駅及び伊勢志摩管内宿泊施設に配布設置

## VI. 観光振興プラン策定事業

平成19年9月に策定された「伊勢志摩観光振興プラン」が、平成25年度までの6年間の計画期間としており最終年度を迎えたことから、遷宮後の5か年を計画期間とした第2次「伊勢志摩観光振興プラン」を策定し、伊勢志摩ブランドコンセプトに基づいた伊勢志摩広域観光戦略を取りまとめました。

#### ○策定委員及び経過

- ・策定委員：当機構に設置された「観光企画委員会」委員16名
- ・策定経過：委員会開催7回

発地アンケート調査（インターネットアンケート1,890人）

当機構会員アンケート調査、行政・観光関係団体等へのヒアリング調査を実施し、現状把握・課題・ビジョン等を整理・分析しながら計画を取りまとめました。

策定成果については、正本及びダイジェスト版の2種類を作成しました。

#### ○計画策定委託業者：三菱UFJリサーチ&コンサルティング

#### ○主な内容

- ・計画期間：平成26年度～平成30年度（5ヶ年）
- ・理念：“観光立国”伊勢志摩経済圏の活性化
- ・数値目標：6項目  
（観光消費額、延宿泊数、外国人宿泊数、入込客延数、満足度、再来訪意向率）
- ・伊勢志摩ブランドコンセプト：4項目  
（神宮文化、御食つ国食文化、国立公園の自然、海女文化）
- ・基本戦略：4項目  
（魅力の向上、満足度の向上、情報発信・誘客力の強化、協働推進体制の強化）
- ・プラン推進の考え方：中長期ロードマップ作成、役割分担、事業の優先順位の明確化
- ・資料編：課題・問題点一覧、国内観光プロジェクト一覧、会員・発地アンケート結果

## VII. 緊急雇用創出事業

24年度に引き続いて、国の「緊急雇用創出事業実施要領」に基づき、「遷宮を好機とした伊勢志摩観光PR事業」委託業務を三重県と締結し、伊勢志摩地域の情報発信活動及び誘致活動に寄与しました。

緊急雇用創出事業の目的である失業者の雇用については、2名の人材を確保しつつ、県内外の観光展及びイベントでは、着地型旅行商品の発信活動及び販売活動を積極的に実施することができました。

また、県内外でのイベント等においては、PR活動と同時にアンケート調査を実施し、旅行商品への期待や要望、伊勢志摩地域への意見や期待度などの情報を得ることができました。これらのデータは、当機構の実施する各事業へ反映させていきたいと考えています。

## VIII. 伊勢志摩WAONカード発行事業

平成23年12月にイオンリテール株式会社と締結した、伊勢志摩地区の産業振興や観光振興及び地域の発展を目的とした包括協定のうち、提携の取組みのひとつとして「伊勢志摩WAON」カードを通じて、当地区における様々なPRに取り組みました。

なお、「伊勢志摩WAON」カードの利用金額の0.1%に当たる1,785,015円が、当機構に寄附されました。

(イオンリテール(株)から1,353,738円 マックスバリュ中部(株)から431,277円)

それに伴い、平成25年6月29日にイオン阿児店において、寄附金贈呈式及びPRイベントを実施しました。

## IX. その他

### (1) 正会員の入会 (6件)

No.	法人名又は団体名	所在地
1	株式会社サン浦島	鳥羽市浦村町1215番地5
2	有限会社若松屋	伊勢市下野町653番地9
3	パール美樹	志摩市志摩町御座225番地
4	株式会社志摩地中海村	志摩市浜島町迫子2619番地1
5	株式会社二見夢工房	伊勢市二見町茶屋228
6	株式会社コミュニケーションサービス	津市栄町2丁目420番地

## (2) 総会 (計2回)

No.	総会名	日時	開催場所	議題
1	第1回定時	H25 5/31 (金)	二見生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度事業報告及び収支決算報告について</li> <li>平成25年度収支補正予算について</li> </ul>
2	第1回臨時	H26 3/27 (木)	二見生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>役員の変更について</li> <li>平成26年度事業計画及び収支予算について</li> <li>平成25年度収支補正予算について</li> <li>平成26年度版伊勢志摩観光振興プランについて</li> </ul>

## (3) 理事会 (計3回) (理事会決議省略を含む)

No.	理事会名	日時	開催場所	議題
1	第1回定時	H25 5/14 (火)	二見生涯学習センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度事業報告及び収支決算報告について</li> <li>平成25年度収支補正予算について</li> <li>平成25年度第1回通常総会の招集の決定について</li> </ul>
2	第1回臨時	H26 3/3 (月)	三重県営サンアリーナ	<ul style="list-style-type: none"> <li>役員の変更について</li> <li>平成26年度事業計画及び収支予算について</li> <li>平成25年度収支補正予算について</li> <li>平成26年度版伊勢志摩観光振興プランについて</li> <li>事務局長の選任について</li> <li>関連委員会規程の一部変更及び廃止について</li> <li>平成25年度第1回臨時総会の招集の決定について</li> </ul>
3	理事会決議省略	H26 3/26 (水)	みなし決議	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局長の変更について</li> </ul>

(4) 伊勢志摩観光企画委員会 (計 8 回)

No.	日 時	開催場所	議 題
1	H25 5/16 (木)	二見生涯学習 センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24 年度事業報告及び収支決算報告について</li> <li>・平成 25 年度収支補正予算について</li> <li>・新観光圏への対応について</li> <li>・伊勢志摩観光振興プランの策定について</li> <li>・各市町観光政策の共有について</li> </ul>
2	H25 7/2 (火)	二見生涯学習 センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各所属における今年度実施観光事業の情報共有について</li> <li>・伊勢志摩観光振興プランの策定スケジュール等について</li> </ul>
3	H25 8/27 (火)	二見生涯学習 センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢志摩観光振興プランの策定に伴うアンケート実施結果 状況及び伊勢志摩観光の課題整理等</li> <li>・MICE 推進委員会の設立に向けた勉強会の開催について</li> </ul>
4	H25 10/22 (火)	二見生涯学習 センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光振興プラン主要団体ヒアリング内容及び基本目標設定</li> <li>・来年度以降のエリアキャンペーンの方向性</li> </ul>
5	H25 11/21 (木)	二見生涯学習 センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢志摩観光振興プランの目標指数及び基本戦略について</li> </ul>
6	H25 12/25 (水)	二見生涯学習 センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 26 年度事業計画及び収支予算の概要について</li> <li>・伊勢志摩観光振興プランについて</li> </ul>
7	H26 1/20 (月)	伊勢市 二見総合支所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢志摩観光振興プランについて</li> </ul>
8	H26 2/21 (金)	伊勢市 二見公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会（理事会）への提案事項について</li> <li>・平成 26 年度各団体の主な実施事業の報告</li> </ul>

## X. 伊勢志摩キャンペーン事業（特別会計事業）

平成 24 年度の「伊勢志摩キャンペーン 美し国、まいろう。伊勢・鳥羽・志摩」のオープン懸賞プレゼント企画を実施しました。厳正な抽選の結果、応募総数 10,194 名様の中から、大阪市在住の向頭(むかいがしら)彩(あや)様が当選されました。

向頭様には真珠貝千個のオーナーになっていただき、珠入れ体験及び珠出し体験とともに 2 回の伊勢志摩セレブ旅をプレゼントしました。

## XI. せんぐう旅博事業（特別会計事業）

平成25年度は、遷宮行事のクライマックスである内宮外宮の遷御の儀が10月2日、5日に執り行われ、新旧の御正宮を同時に見ることができる20年に一度の機会となり更なる誘客が見込まれたため、従来の3市に加え、玉城町、度会町、南伊勢町の3町と一緒に名称も「せんぐう旅博」と改めてキャンペーンを展開しました。

せんぐう旅博では、第2回近鉄エリアキャンペーン、三重県観光キャンペーン伊勢志摩部会と連携して、「夢の真珠オーナー権プレゼント」、「伊勢志摩を旅して当たる！スペシャルプレゼント」、「顔出しパネル de BestShot!」、「現代の名工 紀平昌伸の映画の世界展」など周遊・プレゼント企画を実施しました。

また3市3町にせんぐう旅博の拠点施設「旅博インフォメーション」を計12箇所設置し、案内機能と参宮木札の販売機能を持たせ来訪者のおもてなしを実施しました。

平成26年度は名称を「美し国、まいろう。伊勢志摩キャンペーン 伊勢 神話への旅」と改め、伊勢志摩度会地域全体の誘客と周遊性を高めることを目的に、魅力的な事業を展開してまいります。

### 【事業名】

第2回近鉄エリアキャンペーン 伊勢志摩 せんぐう旅博

### 【期 間】

平成25年7月1日～平成26年3月31日

### 【主 催】

せんぐう旅博実行委員会

構成団体：伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会町、玉城町、南伊勢町、三重県、公益社団法人三重県観光連盟、伊勢商工会議所、鳥羽商工会議所、志摩市商工会、公益社団法人伊勢市観光協会、鳥羽市観光協会、志摩市観光協会、近畿日本鉄道株式会社、三重交通株式会社、公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構

## XII. 伊勢志摩学生団体誘致事業（特別会計事業）

平成25年度は、首都圏（大田区、世田谷区、渋谷区、町田市、川崎市、藤沢市）の公立中学校と、関西圏（大阪市、尼崎市、西宮市、芦屋市、神戸市）の公立小学校をターゲットに三重県観光・国際局、関係諸団体の協力を得て誘致活動を展開しました。



## (1) 企画立案グループ会事業

### ①誘致資料の作成

- ・伊勢志摩学生団体旅行ガイドブック「伊勢志摩においさないさあ」 4,000部
- ・誘致活動用各種モデルコースパンフレット（関西版）1,000部
- ・伊勢志摩学誘委だより（年2回発行）：首都圏・関西圏セールス対象各学校に継続配布

### ②伊勢志摩修学旅行体験学習発表会の開催

日時：平成26年2月14日（金）

場所：三宮研修センター（兵庫県神戸市）

参加ブース：体験ブース6、プレゼン団体6（計12団体）

来場者数：18名（学校関係者7名、旅行業関係者等11名）

内容：関西圏では平成24年度に引き続き、二回目の試みとなった体験学習発表会では、テーマである伊勢志摩ならではの楽しみながら学べる「環境学習」について、各受入団体等によるプレゼンテーションを実施し、体験学習や受入施設のPRをしました。また、教職員と旅行エージェントの方々が実際に「環境学習」を体験できるブースを会場内に設置し、学習の一環を体験していただきました。

### ③伊勢志摩教育旅行等最新情報交換会の開催

日時：平成26年3月7日（金）

場所：三重テラス（東京都中央区日本橋室町2-4-1 YUITO ANNEX）

後援：公益財団法人全国修学旅行研究協会、公益財団法人日本修学旅行協会

参加会員：6名（小見山委員長、道瀬副委員長、山本誘致G長及び事務局3名）

来場者数：33名（学校関係者1名、旅行会社22名、新聞社7名、後援団体3名）

内容：①講演「伊勢神宮と修学旅行の歴史を考える」

講師 太田 孝 氏（東海大学観光学部教授・伊勢観光御師）

②伊勢志摩地域の説明

③修学旅行コース等説明

④交流会

## (2) 誘致宣伝グループ会事業

### ①学校等訪問セールスの実施

- ・首都圏中学校

日程：平成25年7月9日（火）～11日（木） 参加会員23名（10班）

訪問数：大田区、世田谷区、渋谷区、町田市、川崎市、藤沢市の公立中学校 156校

内容：訪問先で伊勢志摩学生団体旅行ガイドブックを活用し、伊勢志摩修学旅行の魅力と具体的な旅行行程の紹介を行いました。

- ・関西圏小学校

日程：平成25年12月18日（水）～20日（金） 参加会員29名（14班）

訪問数：尼崎市、西宮市、神戸市、芦屋市の公立小学校 257校

内容：訪問先で伊勢志摩学生団体旅行ガイドブックを活用し、伊勢志摩修学旅行の魅力と具体的な旅行行程の紹介を行いました。

また、阪神電車、近鉄電車の相互乗り入れや、新名神高速道路開通に伴う伊勢志摩への移動時間短縮、宿泊施設のPRを行いました。なお、伊勢志摩修学旅行体験学習発表会への来場もお願いしました。

・その他

委員長や事務局が首都圏、関西圏等の小中学校、旅行エージェント等を随時訪問し、誘致活動を行いました。

②伊勢志摩現地視察招聘事業の実施

・旅行エージェントの伊勢志摩現地視察招聘事業

開催日時：平 25 年 12 月 12 日（木）、13 日（金）

招聘旅行会社：3 社 15 名

神姫バスツアーズ(株)11 名、神鉄観光(株)2 名、日本観光旅行センター2 名

参加会員：21 名（情報交換会）

内容：関西圏（兵庫県）の新規ターゲット校の取り扱いが多い神姫バスツアーズ(株)、神鉄観光(株)、日本観光旅行センターの 3 社合計 15 名を伊勢志摩へ招聘し、現地視察、情報交換会及び懇親会を開催しました。

現地視察では、1 泊 2 日の行程で観光施設及び体験施設 6 ヶ所、宿泊施設 3 ヶ所を訪問し教育旅行メニューの実体験を行いました。

・あおぞら号に関わる伊勢志摩修学旅行情報交換会

開催日時：平成 26 年 3 月 13 日（木）

参加者：あおぞら号近畿地区運営協議会事務局、旅行エージェント等 9 名

参加会員：小見山委員長、道瀬副委員長、事務局等 5 名

内容：財団法人全国修学旅行研究協会大阪事務局主催の「あおぞら号に関わる伊勢志摩修学旅行情報交換会」を開催していただきました。情報交換会では主催事務局より、来訪側である学校から受入側である当委員会への要望及び修学旅行における現状報告などの活発な情報交換が行われました。